

一般会計予算額 総額39億6千万円

歳入

歳出

- 個人・法人町民税、固定資産税、軽自動車税、町たばこ税
- 地方公共団体間の財政の不均衡を調整するとともに、必要な財源を保障するため、国から地方公共団体に対して交付されるお金
- 国が用途を特定して、国から地方公共団体に交付するお金
- 施設や道路などを新設・増築する場合などに、資金調達のため、政府機関・銀行等から借りるお金
- 町が行う事業に対して県から交付される、用途が決められているお金。
- 地方譲与税、利子割交付金、配当割交付金、株式等譲渡所得割交付金、地方消費税交付金、ゴルフ場利用税交付金、自動車取得税交付金、地方特例交付金、交通安全対策特別交付金、分担金及び負担金、使用料及び手数料、財産収入、寄附金、繰入金、繰越金と諸収入の合計



- 町民の一定水準の生活と、安定した社会生活を保障するのに必要な福祉関係の経費
- 全般的な管理事務や企画調整、財政・財務管理事務などにかかる経費
- 道路、橋、公園などにかかる経費
- 幼稚園、小中学校、公民館など、教育関係経費
- 町が借り入れたお金の元利の償還にかかる経費

特別会計と企業会計

●国民健康保険事業特別会計

12億8,458万円(前年対比+1.7%)

団塊の世代の加入による急激な高齢化や医療の進歩等により、医療費は増加の一途をたどっており、財政運営は極めて厳しい状況にありますが、安心して医療が受けられるよう事業を運営します。

また、人間ドック補助事業や特定健康診査は継続して実施します。

●国民健康保険診療所事業特別会計

9,126万円(前年対比△2.2%)

地域医療の向上に努め、初期医療施設としての機能拡充と診療体制の充実を図ります。

●上水道事業会計

2億1,033万円(前年対比+16.1%)

安全な水を安定的に供給するため、老朽化した配水管の布設替工事等を実施します。

●寄簡易水道事業特別会計

3,453万円(前年対比△0.1%)

寄地区の簡易水道事業に要する経費で、配水管布設替工事を順次進めます。

●下水道事業特別会計

3億7,227万円(前年対比△1.2%)

生活環境の向上と河川環境の保全に向けて整備を進めています。

22年度までの公共下水道認可区域内の整備率は89.6%、接続率は88.7%となっています。引き続き未整備地区を整備する予定です。

●介護保険事業特別会計

7億9,721万円(前年対比+3.7%)

適正な介護・予防給付を実施します。高齢者の自立支援を旨に要支援・要介護状態になることの予防(介護予防)を推進し、地域における包括的・継続的な取組や支援を強化した事業を実施します。

●用地取得特別会計

7,769万円(前年対比+106.1%)

公共用地を取得するための会計で、用地取得や建物などの物件損失補償が主なものです。前年度に引き続き中里地区の公共用地取得と新たに籠場地区の公共用地取得の予算を計上しています。

●後期高齢者医療特別会計

1億2,906万円(前年対比+1.8%)

神奈川県後期高齢者医療広域連合が保険料額の決定や医療の給付などを行い、町は申請や相談などの窓口事務や保険料の収納を行っています。

【一般会計】財政調整基金の状況

町における年度間の財政の不均衡を調整するために積み立てておく資金です。経済の不況等により大幅な税収減に見舞われたり、災害発生等により思わぬ支出の増を余儀なくされることがあります。このような予期しない収入の減少や不時の支出の増に備え、財源に余裕のある年度に積み立てをして、健全財政に努めます。

金	平成21年度末	2億8,433万円	平成23年度末見込額	3億833万円
額	平成22年度末	3億4,434万円		

その他の新設基金

教育施設設備基金 1,000万円
松田小学校を始め、小中学校の改築の必要性があることから、23年度より基金を創設し、建設するための費用に充てます。